発言順位	10 番

一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和２年　６月　９日

三島市議会議長　　大房　正治　様

三島市議会議員　　７番　　服部　正平　印

質問事項１	新生活様式が当市事業計画に与える影響と対策について

具体的内容

新型コロナウイルス感染症においては、今後第２波・第３波の感染拡大が懸念され、政府は「新生活様式」によって備えるとし、生活様式や行動の変化について、緊急のウェブ調査を実施すると表明した。外出自粛や在宅勤務などに伴う国民の意識変化を調べ、７月半ばに策定する経済財政運営の基本指針「骨太の方針」に反映させるとし、「感染を防止しながら、経済活動を広げる新しい日本の経済社会の姿を示したい」と強調しました。

当市においては、今年度の事業計画は真に必要な事業を見極め、市民ファーストの立場で選択と集中を図ることとし予算配分をされたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により当市における当初予算編成時とは状況は一変し、先に述べたとおり「新生活様式」により市民が行政に求める事項にも変化がみられることから、今年度の当市が基本とした３本の柱に沿って立てられた事業計画と「新生活様式」との整合性を諮り、真に必要とされる事業の見直し、補強すべき点があると考えることから以下伺う。

1.　１つの柱「世界を魅了するガーデンシティと新たな時代に向けた賑わい・活力あふれるまちづくり」の点から、

(1) 三島市をＰＲし誘客に努める事業と三島駅南口東街区再開発事業は「新生活様式」との関係では矛盾点が存在することから、その解消、見直すべき点をどのように考えておられるか。

2.　２つ目の柱「元気で活発な市民を育むスマートウエルネスの推進と未来へつなぐ教育・文化の充実」の点から、不要不急の事業から「必要火急」の事業に傾注すべきであると考えることから以下伺う。

(1) 市民の健康不安を解消すべき対策として講じるべき追加施策を検討されているか。

(2) 財源確保に向けた予算の組み換えを行なうべき事業の有無について

3.　３つ目の柱「コミュニティのきずなでつくる地域の安全・安心な暮らしと優しさあふれる子育て・福祉の推進」の点から、３密対策の強化と、それによる地域の絆の弱まりをどのように食い止めるかについて以下伺う。

(1) 様々な施設において３密を避ける対策が講じられている。特段放課後児童クラブの増床は速やかに行わなくてはならないことから当初計画スケジュールの見直しの必要性について

(2) 人と人との接する機会、距離間を保つなどの自粛がもとめられるなかで、地域のきずなを保つことが困難な事例が起きている。地域のつながりが弱まる中、三島市はどのように補強策を考えているか。